多言語多文化共生センター［社会貢献部門］

2021（令和 3）年度実績

2022 年 5 月 1 日

（1）社会貢献事業

1. 言語文化サポーター　― p.2
2. 「外国人児童生徒のための JSL 対話型アセスメント（DLA）」事業　― p.6
3. 児童相談所等との連携事業の推進　― p.9
4. 多文化共生人材養成講座の実施　― p.9

（2）その他の多文化共生に関わる事業

1. 「外国につながる子どもたちのための教材」（5 言語）の公開　― p.10
2. 外部機関と大学との多文化共生に関わる連携事業の調整　― p.11

（3）地球共生社会実現のための情報発信・社会還元

1. TUFS Cinema　― p.12
2. 講演会・セミナー等の開催　― p.13
3. TUFS 多文化共生活動事業　― p.15

（4）広報活動

1. ウェブサイト運営　― p.15
2. メールマガジン発行　― p.16
3. 名義後援　― p.16
4. その他　― p.16

（5）センター運営（社会貢献部門）　― p.17

（1）社会貢献事業

1．言語文化サポーター

＜計画＞

2016（平成 28）年 7 月 1 日に、「コミュニティ通訳制度」と「言語ボランティア制度」を統合し、「言語文化サポーター」として新たに事業を開始した。

本学卒業生、大学院生（正規留学生を含む）、教職員等を言語文化サポーターとして登録し、在日外国人支援や、国際的なイベントなどを紹介する。

A．在日外国人支援

社会貢献活動として、法律相談会や児童相談所などに言語文化サポーターを紹介する。

B．国際イベントへの参加

スポーツや文化に関わる国際的な催しや国際交流・国際理解教育等イベントのスタッフとして言語文化サポーターを紹介する。

＜実績＞

① 言語文化サポーター登録者（実人数 243 名)、言語別延べ人数 383 名）

■言語別（延べ人数 **383** 名、**36** 言語）

	言語		延べ人数				
		2017 年度登録	2018 年度登録	2019 年度登録	2020 年度登録	2021 年度登録	合計
1	英語	85 名	17 名	19 名	6 名	27 名	**154 名**
2	中国語	20 名	7 名	4 名	1 名	6 名	**38 名**
3	スペイン語	19 名	5 名	4 名	-1 名	7 名	**34 名**
4	フランス語	9 名	1 名	2 名	0 名	4 名	**16 名**
5	ポルトガル語	7 名	3 名	2 名	0 名	2 名	**14 名**
6	朝鮮語	5 名	2 名	2 名	1 名	0 名	**10 名**
7	ペルシア語	7 名	0 名	0 名	0 名	2 名	**9 名**
8	タイ語	4 名	3 名	0 名	-1 名	4 名	**10 名**
9	トルコ語	5 名	1 名	0 名	0 名	5 名	**11 名**
10	インドネシア語	5 名	0 名	1 名	0 名	4 名	**10 名**
11	ロシア語	3 名	0 名	2 名	4 名	6 名	**15 名**
12	ベトナム語	2 名	1 名	1 名	0 名	1 名	**5 名**
13	イタリア語	1 名	0 名	2 名	2 名	3 名	**8 名**
14	マレー語	3 名	0 名	0 名	0 名	2 名	**5 名**

15	ドイツ語	2名	1名	0名	0名	1名	**4名**
16	台湾語	2名	0名	0名	0名	1名	**3名**
17	モンゴル語	2名	0名	0名	0名	3名	**5名**
18	ダリ―語	2名	0名	0名	0名	2名	**4名**
19	ヒンディー語	1名	0名	1名	0名	1名	**3名**
20	ビルマ語	1名	0名	1名	1名	0名	**3名**
21	タガログ（フィリピノ）語	1名	0名	0名	0名	3名	**4名**
22	ウズベク語	1名	0名	0名	0名	0名	**1名**
23	ウイグル語	1名	0名	0名	0名	0名	**1名**
24	アゼルバイジャン語	0名	1名	0名	0名	0名	**1名**
25	ウルドゥー語	0名	1名	0名	0名	1名	**2名**
26	スロベニア語	0名	1名	0名	0名	0名	**1名**
27	カンボジア語	0名	0名	1名	0名	1名	**2名**
28	ベンガル語	0名	0名	1名	0名	1名	**2名**
29	チェコ語	0名	0名	0名	0名	1名	**1名**
30	ラトビア語	0名	0名	0名	0名	1名	**1名**
31	スワヒリ語	0名	0名	0名	0名	1名	**1名**
32	セブアノ語	0名	0名	0名	0名	1名	**1名**
33	ジャワ語	0名	0名	0名	0名	1名	**1名**
34	タジク語	0名	0名	0名	0名	1名	**1名**
35	ポーランド語	0名	0名	0名	0名	1名	**1名**
36	ラオス語	0名	0名	0名	0名	1名	**1名**
	合計	188名	44名	43名	13名	95名	**383名**

■所在地別（実人数 **243** 名）

	言語		実人数				
		2017年度登録	2018年度登録	2019年度登録	2020年度登録	2021年度登録	合計
1	東京都	66名	12名	15名	5名	35名	**133名**
2	神奈川県	18名	6名	6名	2名	3名	**35名**
3	埼玉県	14名	1名	2名	1名	6名	**24名**
4	千葉県	8名	1名	5名	0名	2名	**16名**
5	茨城県	1名	3名	0名	0名	0名	**4名**
6	新潟県	1名	1名	0名	0名	0名	**2名**

7	愛知県	1名	0名	1名	1名	2名	**5名**
8	青森県	0名	1名	0名	0名	0名	**1名**
9	群馬県	1名	0名	0名	1名	0名	**2名**
10	山梨県	1名	0名	0名	1名	0名	**2名**
11	静岡県	1名	0名	0名	0名	0名	**1名**
12	京都府	1名	0名	0名	1名	1名	**3名**
13	大阪府	1名	0名	0名	0名	0名	**1名**
14	兵庫県	1名	0名	0名	0名	0名	**1名**
15	広島県	1名	0名	0名	1名	0名	**2名**
16	福岡県	1名	0名	0名	0名	0名	**1名**
17	沖縄県	1名	0名	0名	0名	0名	**1名**
18	長野県	0名	0名	0名	0名	2名	**2名**
19	高知県	0名	0名	0名	0名	1名	**1名**
20	北海道	0名	0名	0名	0名	1名	**1名**
20	イギリス	1名	0名	0名	0名	0名	**1名**
21	スペイン	0名	0名	0名	0名	1名	**1名**
22	中国	0名	0名	0名	0名	1名	**1名**
23	ドイツ	0名	1名	0名	0名	0名	**1名**
24	チェコ共和国	0名	0名	0名	0名	1名	**1名**
	合計	119名	26名	29名	13名	56名	**243名**

② 紹介・情報提供 **7** 件、紹介人数延べ **20** 名（うち実際に活動できたのは **3** 名のみ／コロナ禍による中止）

	団体名	活動日	活動の詳細	紹介人数（延べ）	活動人数
1	関東弁護士連絡会	2021年9月3日（金） 13:00～16:00 →派遣先事情により10月1日（金）同時間に変更	2021年度（第22回）東日本入国管理センター臨時法律相談会	中国語1名	**1**
2	第二東京弁護士会 国際委員会	2022年2月1日（火） 13:00～16:00 →コロナ禍により中止	東京出入国在留管理局における無料法律相談会	英語1名 中国語1名	**0**

3	関東弁護士連絡会	2022 年 2 月 4 日（金）	2021 年度（第 23 回）東日本入国管理センター臨時法律相談会	英語 1 名	**1**
4	最高裁判所事務総局 行政局	2022 年 2 月 8 日（火） 14：40～15：50	東京地方裁判所立川支部における裁判手続きでの被告人の法廷通訳	バリ語　該当者なし	**0**
5	日本弁護士連合会	2022 年 3 月 18 日（金）・3 月 19 日（土） 13:00～16:00 →派遣先事情により中止	コロナ禍における外国人相談会	英語 2 名 中国語 4 名 スペイン語 4 名 ポルトガル語 3 名 タイ語 1 名 タガログ語 1 名	**0**
6	認定 NPO 法人茨城 NPO センター・コモンズ	2022 年 3 月 22 日申込 →納期：2022 年 4 月 11 日	茨城県の小中学校での新年度資料の翻訳	ミャンマー語　1 名	**1**

■言語別紹介人数（言語　実人数 **18** 名、延べ人数 **20** 名）※実活動人数 **3** 名

	言語	人数（実人数）	人数（延べ人数）	実活動人数
1	英語	3 名	4 名	1 名
2	中国語	5 名	6 名	1 名
3	ポルトガル語	3 名	3 名	0 名
4	スペイン語	4 名	4 名	0 名
5	タイ語	1 名	1 名	0 名
6	タガログ語	1 名	1 名	0 名
7	ミャンマー語	1 名	1 名	1 名
	合計	18 名	20 名	3 名

③ 言語文化サポーター向けの研修等を 1 回開催し、計　**40** 名（延べ人数）が参加

名称	会場	日時	参加者	内容
第 1 回 言語文化サポーター研修	Zoom による オンライン開催	2021 年 10 月 22 日（金） 10:10-11:40	40 名 （15 名）	オンライン講演会「外国人在留支援センター（FRESC）での外国人の法的支援について～福祉現場との連携の経験を生かして」 講師：冨田さとこ氏（弁護士・法テラス本部国際室長 ）

※当日の参加者数を集計、（　）内は言語文化サポーター内数

2.「外国人児童生徒のための JSL 対話型アセスメント（DLA）」事業

<計画>

DLA の地域での普及を図るため、教材を作成して公開・配布するともに、日本語指導者に教育の現場で DLA を使用してもらい、フィードバックを得て本アセスメントの改善を試みる。本学学部・大学院等における DLA 学習授業を実施する。また DLA の普及および教員研修に関する活動を実施する。また、今年度から母語による DLA の取り組みを新たに開始した（p.8 参照）。

<実績>

①2019（令和元）年度より設置された文部科学省「外国人児童生徒等教育アドバイザー」の委嘱により、 自治体からの求めに応じて教員研修講師 を務めたほか、文科省・自治体の施策立案への助言等の活動を行った。また、自治体からの個別依頼に応じて研修を企画したほか、多言語多文化共生センターに寄せられたメール等での問い合わせに対する回答・アドバイス等を行った。

・6/25（金）川崎市教育委員会　DLA 日本語指導研修［70 名／遠隔　zoom 使用］
・6/28（月）浜松市教育センター　DLA 外国人児童生徒教科指導員研修［６０名／対面］
・7/5（月）岐阜県総合教育センター　外国人児童生徒への指導力向上講座［２０名／対面］
・7/30（金）相模原市立清新小学校　*外国人児童生徒等教育アドバイザー研修*［６０名／対面］

・1/14（金）四街道市八木原小学校　*外国人児童生徒等教育アドバイザー研修*［３０名／対面］
・3/29（火）文科省アドバイザリーボード　[zoom 会議]

②『外国人児童生徒のための JSL 対話型アセスメント（DLA）＜聴く＞』で使用する聴解用映像の修正版をホームページで引続き公開した。

【A1．えんそく】
https://www.youtube.com/watch?v=YhgNPqcLquc&feature=youtu.be
【A2．うんどうかい】
https://www.youtube.com/watch?v=TEjnFJHEp1g&feature=youtu.be
【A3．工場見学】
https://www.youtube.com/watch?v=C_pMQiOwdd4&feature=youtu.be
【B4．えんそくのおしらせ】
https://www.youtube.com/watch?v=aDsdZhIGC2Y&feature=youtu.be
【B5．トマトのさいばい】
https://www.youtube.com/watch?v=7UglVUhTIcA&feature=youtu.be
【B6．ごみのゆくえ】
https://www.youtube.com/watch?v=qYfVhHxnTfA&feature=youtu.be
【B7．エネルギー】
https://www.youtube.com/watch?v=k2YvTGW7kTA&feature=youtu.be
【B8．地震】
https://www.youtube.com/watch?v=jBJARVjh1FA&feature=youtu.be

③ 2016（平成 28）年度に作成した「外国人児童生徒のための JSL 対話型アセスメント（DLA）」の使い方映像マニュアルをホームページで引続き公開した。

【1 『外国人児童生徒のための JSL 対話型アセスメント DLA』概要】
https://www.youtube.com/watch?v=f8QChp2FdLM&feature=youtu.be
【2 はじめの一歩】 https://www.youtube.com/watch?v=0fQAv2YWSCU
【3 話す】 https://www.youtube.com/watch?v=CT1B_ZQFDFw&t=6s
【4 書く】 https://www.youtube.com/watch?v=4YFMiUW86hY&t=2s
【5 読む】 https://www.youtube.com/watch?v=LuKBRft9f0s
【6 聴く】 https://www.youtube.com/watch?v=B4DWDLyYHn0&t=35s

④外国につながる子どもの母語による DLA の普及活動を「多言語による DLA ワークショップ」と題して実施した。

日時	場所	内容	講師	参加者	その他
2022 年 2 月 12 日（土） 10:30-16:30	Zoom	多言語による DLA ワークショップ―子どもが持つ力を最大限に発揮できる教育を私たちと一緒につくりませんか。	・全体講義①「複数言語アセスメントって、何だろう？」　櫻井千穂(大阪大学) ・全体講義②「子どもが使える言語をすべて活用した「トランスランゲージング」の教室づくりを知ろう！」佐野愛子（立命館大学） ・言語別 DLA ワークショップ 中国語 ： 田慧昕（門真市立砂子小学校） ポルトガル語 ： 池田マルシア（豊田市教育委員会） スペイン語 ： 金箱亜希（愛知県尾張教育事務所） フィリピノ語 ： 矢元貴美（大阪大学） ベトナム語 ： 近藤美佳（大阪大学） ロシア語 ： 横井幸子（大阪大学）、サヴィヌィフ アンナ（札幌ロシア語学校） 英語 ： 佐野愛子（立命館大学） 日本語 ： 櫻井千穂（大阪大学）	233 名	主催：MHB 学会国内 CLD 児教育部会・東京外国語大学多言語多文化共生センター 共催：大阪大学外国ルーツの子どもたち研究会

⑤「令和４年度高等学校等における日本語能力評価に関する予備的調査研究事業（文部科学省）採択
日本国内に暮らす外国籍住民数は 2019 年末に過去最高数を記録し（2,933,137 人）、日本国内での文化的言語的に多様な生徒への高等学校での支援体制の確立は、学校教育現場において共通の喫緊の課題となっている。この事業では、日本国内の高等学校等における外国につながる生徒の日本語指導・教科指導の充実化に向けて、義務教育課程修了レベルの日本語を含む複言語による言語能力を評価するための判定および高等学校での指導・支援につながる評価の指針の策定を目的としている。

3．児童相談所等との連携事業の推進

＜計画＞

東京都内の児童相談所等を含む、首都圏の児童相談関連機関と連携し、言語文化サポーターを対象に、通訳の紹介および通訳に対する研修を実施する。

＜実績＞

新型コロナ感染症拡大防止等のため、2020 年度に引き続き 2021 年度についても実績はなし。

4．多文化共生人材養成講座の実施

＜計画＞

多文化共生人材を養成するために、自治体や地域社会で活動する団体、企業の人事関係者などを対象とし、共生のための体制づくりを担う人材向けの講座および研修を実施することによって、学び直しの場を提供する。

具体的には、言語文化サポーターを対象とした研修を実施し、言語文化サポーターも含む一般の人々を対象にした多文化共生人材講座を開講する。また、法廷、捜査、弁護活動など様々な司法の現場で、異なる言語と文化のあいだに立ち、コミュニケーションの円滑化にあたれるスペシャリストを養成する。

＜実績＞

①言語文化サポーター研修

・「第 1 回言語文化サポーター研修」を、2021 年 10 月 22 日（金）に開催し、延べ 40 名の言語文化サポーターが参加した。（p.6 参照）

②専門通訳講座

青山学院大学との連携のもと、2021 年度「司法通訳養成講座」を全講座オンラインにて開講した。[開講言語：スペイン語(14 名)、ベトナム語(7 名)]

また、2022 年度募集についても、オンラインで募集、選考を行い、日本国内はもとより､海外からの受講生も獲得した。

【最終受講者:20 名】※（　）内は海外在住者
ポルトガル語 ：10 名（1 名）／母語ポルトガル語（2 名）
フィリピノ（タガログ）語 ：4 名
ミャンマー語（ビルマ）語 ：6 名（1 名）／母語ミャンマー語（2 名）

●選考等の詳細は以下のとおり。　　（　）内は海外在住者

開講言語	応募者　33 名	一次審査合格者 29 名	最終合格者　21 名
ポルトガル語	20 名（2 名）	17 名（2 名）	10 名（1 名）
フィリピノ（タガログ）語	6 名（1 名）	6 名（1 名）	5 名
ミャンマー（ビルマ）語	7 名（1 名）	6 名（1 名）	6 名（1 名）

また、「司法における言語・文化のバリアフリー化を目指して」と題した司法通訳に関するシンポジウムを、2021 年 12 月 18 日（土）に開催し、延べ 100 名が参加した。（p.13 参照）

（2）その他の多文化共生に関わる事業

1.「外国につながる子どもたちのための教材」（5 言語）の公開

＜計画＞

・日本語を学ぶ子どもを対象にした漢字や算数の教材をウェブサイトで公開する。
http://www.tufs.ac.jp/blog/ts/g/cemmer/social.html
・電気通信大学との連携により、漢字教材のアプリ化に着手（p.12 参照）

＜実績＞

・ 教材ホームページ訪問数　129,998 件

① ポルトガル語版　在日ブラジル人児童のための教材（漢字・算数）
② タガログ語／英語版　在日フィリピン人児童のための教材（漢字・算数）
③ スペイン語版　南米スペイン語圏出身児童のための教材（漢字・算数）
④ ベトナム語版　ベトナム出身児童のための教材（漢字）
⑤ タイ語版　在日タイ語圏児童のための教材（漢字）
⑥ ポルトガル語版　在日ブラジル人のための自習用漢字教材

	①	②	③	④	⑤	⑥	合計
4 月	2,081	5,107	1,478	605	1,552	1,917	**12,740**
5 月	2,559	5,976	1,216	563	1,923	1,729	**13,966**
6 月	2,394	5,376	1,144	666	1,897	1,523	**13,000**
7 月	2,144	2,645	1,307	1,887	1,745	1,449	**11,177**
8 月	1,683	1,954	1,416	544	2,132	1,381	**9,110**
9 月	2,010	5,458	1,445	721	1,919	1,283	**12,836**
10 月	2,013	5,443	1,520	636	1,693	1,475	**12,780**
11 月	1,793	3,399	1,379	509	1,626	1,131	**9,837**
12 月	1,757	2,230	1,166	450	1,201	1,020	**7,824**
1 月	1,810	2,256	1,392	407	1,277	1,083	**8,225**
2 月	1,509	3,286	1,185	377	994	1,378	**8,729**
3 月	1,628	3,994	1,484	394	1,122	1,152	**9,774**
計	23,381	47,124	16,132	7,759	19,081	16,521	**129,998**

※ 京都大学が運営している言語グリッドが提供する「多言語掲示板」のウェブページに「外国につながる子どもたちのための教材開発」ページが掲載されている。
http://langrid.org/tools/tufs/?ml_lang=ja
（運営：2007 年 7 月より京都大学大学院社会情報学専攻、2017 年 11 月より言語グリッドアソシエーション）

2. 外部機関と大学との多文化共生に関わる連携事業の調整

<計画>

外部機関が大学と連携して実施する多文化共生に関わる事業について、大学内での調整を行う。

<実績>

連携機関名	連携内容	備考
東京地方検察庁	11/19（金）東京地方検察庁主催の研修会に協力（内藤先生、中・越講師の派遣）	2018（平成 30）年 4 月 18 日付で連携・協力をする旨の覚書を締結
東京都教育庁	日本語指導ハンドブック（試行版）の開発	

警察庁、警察大学校	○出張講義に協力（いずれも青山亨先生） ・5/17（月）インドネシア情勢について 「国際協力課程」入所生 12 名、「国際協力課程」事務担当者 4 名　合計 16 名参加 ・1/4（火）イスラーム文化について ○国際日本学部学生 5 名によるインタビューに協力いただいた	相互に講師を派遣するなどの研修の実施
ほるぷ出版	言語文化サポーターを中心に、以下言語についての翻訳・校閲に協力（中国語（簡体字、繁体字）、朝鮮語、フィリピノ語、ベトナム語、インドネシア語、英語、ドイツ語、フランス語、ポルトガル語、スペイン語、ロシア語）	
漢字教材のアプリ化（電通大との連携事業）	ポルトガル、タイ、スペイン、ベトナム、フィリピンの各言語での漢字カードアプリを開発	外国に繋がる児童への学習支援に役立つ漢字学習アプリ教材の開発（ポルトガル、タイ、スペイン、ベトナム、フィリピン。新規として英語及びベンガル語にも着手）
外国人技能実習機構	各種委員会に委員を派遣	
イミグレーション・ミュージアム・東京	12/11（土）～26 日（日）/展覧会（足立区）で、ポルトガル語劇に関する活動を紹介	
群馬県大泉町	・11 月 26 日(金)　役場が主催するオンラインの事業へ学生 1 名を派遣 ・12 月 12 日（日）ポルトガル語劇実施	

（3）地球共生社会実現のための情報発信・社会還元

1. TUFS Cinema

<計画>

世界の諸言語による映画等の上映会・トークセッションを不定期で一般向けに開催し、世界諸地域の社会・歴史・文化などの理解を深める機会を与える。

<実績>

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、上映を見合わせた。

2. 講演会・セミナー等の開催

<計画>

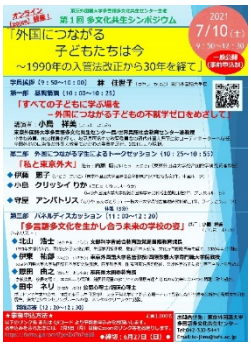
本学で蓄積された「世界知」を発信する機会として、講演会・セミナー等を不定期で開催し、日本のグローバル化の大きな力となることを目指す。

<実績>

外部からの講師を招き、学生・一般向けに講演会を開催した。(多文化共生シンポジウム　計 2 回、VOLASpecial　計 7 回)

日時	場所	内容	講師	参加者
2021 年 7 月 10 日（土）9:50-12:30	Zoom	「外国につながる子どもたちは今～1990 年の入管法改正から 30 年を経て」	小島祥美　センター長 伊藤恵子氏、小島クリッシイりか 氏（本学学生)、守屋アンパトリス氏（一橋大院生（本学卒業生))、北山浩二 氏（文科省)、伊東祐郎氏（本学名誉教授・国際教養大学)、恩田由之 氏（太田市教育長)、田中ネリ 氏（公認心理士・臨床心理士）	600 名
2021 年 12 月 18 日（土）9:40-12:00	ウェビナー	「司法における言語･文化のバリアフリー化を目指して」	指宿昭一 氏（弁護士)、板尾彩未 氏（司法通訳・翻訳者)、高畑幸 氏（静岡県立大学)、モデレーター:内藤稔 副センター長	100 名

第 1 回、第 2 回
多文化共生シンポジウムポスター
⇒





日時	場所	内容	講師	参加者
2021 年 6 月 2 日 （水）16:00-17:30	Zoom	「ボランティアって、なんだろう？」	木下理仁　氏 かながわ開発教育センター（K-DEC）事務局長、東海大学国際学科講師	12 名
2021 年 6 月 16 日 （水）16:00-17:30	Zoom	「難民」とは誰なのか	粟村友美　氏 AAR　Japan（特定非営利活動法人　難民を助ける会）（本学卒業生）	64 名
2021 年 6 月 23 日 （水）16:00-17:30	Zoom	「難民の人々を歓迎できる社会に！」	有川憲治　氏 NPO 移住連（移住者と連帯する全国ネットワーク）理事、NPO アルペなんみんセンター理事・事務局長	60 名
2021 年 10 月 13 日 （水）16：00-17:30	Zoom	「ストリートチルドレン」とかかわる～フィールドワーク、取材、ボランティアの先に～	工藤律子　氏 ジャーナリスト NGO「ストリートチルドレンを考える会」共同代表（本学卒業生）	55 名
2021 年 10 月 20 日 （水）16:00-17:30	Zoom	「児童労働のない未来のために私たちにできること」	青井彩乃　氏 特定非営利活動法人 ACE（本学卒業生）	40 名
2021 年 10 月 27 日 （水）16:00-17:30	Zoom	「パレスチナの子どもたちが過ごす日常～占領と封鎖の中で」	大澤みずほ 氏 日本国際ボランティアセンター（JVC）	45 名
2021 年 12 月 15 日 （水）16:00-17:30	Zoom	「ドイツ国際平和村　紛争や危機的状況にある地域への支援」	エアビック宍倉妙子　氏 ドイツ国際平和村職員	23 名

3.TUFS 多文化共生活動事業

＜計画＞

グローバル化によって地球規模での人の移動がますます激しくなる中、地球共生社会実現のためには、世界諸地域の社会や文化などの理解を促進することが不可欠となっている。本学教員が異なる文化や社会の相互理解を深める目的で実施する活動を支援する（助成内容は、一般社会を対象とする多文化共生社会の実現に資する活動とする。例：学外に開かれたセミナーやシンポジウムなど）。

＜実績＞

以下　1 件の採択があった。

採択者	採択事業名	活動時期
加藤みゆき	セミナー「やさしい日本語の可能性：多文化共生に向けたコミュニケーションのあり方を考える」の開催	2021 年 12 月 19 日（日）

（4）広報活動

1. ウェブサイト運営

＜計画＞

ウェブサイトを運営し、センターに関する基本情報や、活動紹介や講座の受講案内などを発信する。http://www.tufs.ac.jp/blog/ts/g/cemmer/

＜実績＞

・ブログ記事　計 7 件を掲載した

掲載年月日	タイトル
2021 年 6 月 10 日	第 1 回多文化共生シンポジウム「外国につながる子どもたちは今～1990 年の入管法改正から 30 年を経て」
2021 年 9 月 7 日	言語文化サポーターらがブックスタート事業に協力
2021 年 9 月 10 日	調布市との連携
2021 年 10 月 7 日	多言語多文化共生センター主催講演会「外国人在留支援センター（FRESC）での外国人の法的支援について～福祉現場との連携の経験を生かして～」
2021 年 10 月 27 日	東京外国語大学×青山学院大学「司法通訳養成講座」2022 年度（ポルトガル語、フィリピノ（タガログ）語、ミャンマー（ビルマ）語）
2021 年 11 月 2 日	第 2 回多文化共生シンポジウム「司法における言語・文化のバリアフリー化をめざして」
2022 年 1 月 5 日	多言語による DLA ワークショップ

2. メールマガジン発行

<計画>

センターの最新情報や、多言語多文化に関する情報を、団体・個人の希望者に発信する。

<実績>

新型コロナウイルス感染拡大防止のため､イベント等が自粛されている現状を考慮し、2021 年度も配信を停止した。

3. 名義後援

<計画>

他団体が実施する多言語多文化に関するシンポジウム、講演会、イベント等の後援を行う。

<実績>

・2021 年度の名義後援実績はなし

4. その他

<実績>

○新聞・雑誌等への掲載：

・2021 年 5 月 10 日　日本経済新聞朝刊／小島祥美准教授／コメント掲載「国、実態調査や対策検討を」

・2021 年 6 月 23 日　KSB 瀬戸内海放送 ニュース／小島祥美准教授／コメント報道「特集 高校進学率の低さなどが課題 外国人の親を持つ子どもたちの教育を考える」

・2021 年 6 月 24 日　毎日新聞朝刊／小島祥美准教授／コメント掲載「外国人学校、25%保健室なし 健診実施 79% 文科省初調査」・2021 年 8 月 25 日　日本経済新聞朝刊／小島祥美准教授／私見卓見（寄稿）「外国人学校、健康管理の制度化を」

・2021 年 11 月 15 日発行 No.424 日本経済新聞社「日経グローカル」／小島祥美准教授／フォーカス「外国人の不就学児童・生徒をどう救うか」（27 ページ）コメント「外国人の少ない地域は地域連携で負担減を」

・2022 年 1 月 7 日　日本経済新聞／多言語多文化共生センター／記事掲載「ベトナム語通訳、警察で不足　摘発急増で採用追いつかず」／電子版

・2022 年 1 月 18 日 NHK 名古屋「おはよう東海」／小島祥美准教授／コメント「プレスクール」

・2022 年 2 月 25 日 自治体国際化フォーラム／内藤稔准教授／記事掲載「ニューノーマル時代に

おける「インターンシップ」授業の取り組み／紙面・電子版

・2022 年 3 月 28 日 日本経済新聞朝刊／小島祥美准教授／インタビュー「外国人「共生」の実相専門家に聞く（下）子どもへ日本語指導、ニーズ拡大 学ぶ場確保は国が主導を」

（5）センター運営（社会貢献部門）

部門長、副部門長及び部門長が指名した部門員で組織する、多言語多文化共生センター多文化共生社会貢献部門・部門会議を開催して、社会貢献部門の業務を企画、実施及び推進する。

【社会貢献部門会議メンバー】

小島 祥美	部門長
内藤 稔	副部門長
武田 千香	部門員
青山 亨	部門員
今井 昭夫	部門員
菅長 理恵	部門員
大津 友美	部門員
萩尾 生	部門員
木村 晴茂	部門員

＜実績＞

・部門会議の開催

第 1 回	2021 年 4 月 8 日（木）
第 2 回	2021 年 4 月 22 日（木）
第 3 回	2021 年 5 月 19 日（水）
第 4 回	2021 年 6 月 16 日（水）
第 5 回	2021 年 7 月 14 日（水）
第 6 回	2021 年 9 月 22 日（水）
第 7 回	2021 年 10 月 20 日（水）
第 8 回	2021 年 11 月 17 日（水）
第 9 回	2021 年 12 月 15 日（水）
第 10 回	2022 年 1 月 19 日（水）
第 11 回	2022 年 2 月 9 日（水）